

令和5年度 第1回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議 次第

日 時：令和5年4月24日（月）午前9時30分～

場 所：教育プラザ研修棟3階 大会議室

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 挨拶

4 委員長、副委員長の選出

5 議 事

(1) 令和4年度事業報告について 資料No.1

(2) 令和5年度事業計画について 資料No.2、3

(3) 令和5年度事業訪問について 資料No.4

(4) その他

・社会教育委員・公民館運営審議会委員 情報共有の取組について 資料No.5

・令和5年度社会教育委員に関する会議等日程について 資料No.6

6 その他

○ 各種役員・委員等選出について

7 閉 会

令和4年度事業の報告（社会教育課）

○社会教育係

事業名	謙信KIDSプロジェクト
決算見込額 (現計予算額)	4,990千円(5,140千円)
事業内容	<p>目的：ふるさと上越の魅力ある体験活動を通して、学ぶ意欲やふるさとを愛する心を育成するとともに、地域の資源や人材をいかし、グローバル社会に生きる力を育てる。</p> <p>内容：6月から17講座22コースで講座を実施し、学ぶ意欲と郷土を愛する心の育成を図るとともに、異学年・異学校の子どもたちの仲間づくりを進めた。</p> <p>人数等：募集人数439人、申込人数1,402人、延べ参加人数1,609人</p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> 参加した子どもと保護者を対象に実施したアンケートでは、95%の子どもが「上越市のことをもっと知りたくなった」と答えたほか、保護者の98%が「上越市の豊かな自然や社会などへの興味・関心が深まる機会になった」と回答しており、親子で郷土への愛着を育むきっかけづくりにもつながっている。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って延期となった講座があったものの、計画したすべての講座を実施することができ、保護者からは対策をして実施したことへの評価の声も聞かれた。

事業名	社会同和教育活動事業
決算見込額 (現計予算額)	4,038千円(4,969千円)
事業内容	<p>○白山会館事業 1,410千円</p> <p>目的：白山会館を拠点に学校教職員等対象の現地学習会や研修会、地域住民と関係者等との交流事業を実施することにより、人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深める。</p> <p>内容：参加人数及び夏季休業期間中の参加範囲を限定し、学校等107団体（市内79、市外19、学校以外9）からの要請を受け、白山会館で差別の現実から学ぶ人権・同和学習会を67回開催し、1,516人が参加した。</p> <p>また、令和4年度は、上越市の同和教育の拠点施設である白山会館が開館50周年を迎えたことから、開館50周年記念事業を実施した。</p> <p>○小・中学生学習会 690千円</p> <p>目的：学習会を通して、学力の向上や仲間づくりを図る。</p> <p>内容：年間を通して120回実施し、延べ318人が学習会に参加した。（小学生対象実施回数66回・延べ参加人数174人、中学生対象実施回数54回・延べ参加人数144人）</p>

	<p>○白山会館管理運営 1,715 千円</p> <p>目的：人権・同和教育の活動拠点である白山会館を適切に管理運営する。</p> <p>内容：コロナ禍のため、令和2年度以降施設の利用人数を制限したため、令和元年度以前と比べ利用数が減少したが、徐々に制限を緩和し、利用数も増加傾向にある。</p> <table border="1" data-bbox="520 421 1465 510"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>1,904</td> <td>2,472</td> <td>2,736</td> </tr> </tbody> </table> <p>○市民啓発事業 223 千円</p> <p>目的：人権を考える講話会の開催や関係機関及び団体等が実施する研修会へ講師を派遣することにより、同和問題をはじめとする人権問題に対して市民が正しい理解と認識を深め、差別意識の払拭を図ることで、基本的人権が真に保障される地域社会の実現を目指す。</p> <p>内容：全小学校を3年で一巡する計画であり、16小学校区においてPTAや町内会など地域住民を対象に人権を考える講話会を開催し、492人の参加があった。また、団体からの要請に応じ実施する人権に関する研修会は、開催実績はなかった。</p>	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	利用者数(人)	1,904	2,472	2,736
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度						
利用者数(人)	1,904	2,472	2,736						
<p>評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習会や人権を考える講話会のアンケートで、「子どもたちの鋭い人権感覚は日常の積み重ねによって育まれていくと感じた。今後の授業等に活かしたい」「正しい理解と知識をもって、差別を根絶していく必要があると再認識した」「一言で人権と言っても様々な視点で考えなければいけないことをあらためて感じた。指導者として、いじめを起こさないのはもちろん、自身の振舞いにも気をつけていかなければならないと強く思った」「人権を守ることはとても大切なことで、子どもたちへも帰って話したいと思った」などの感想が寄せられ、参加者の人権に関する意識を高めることができた。 ・現地学習会や人権を考える講話会の取組により、同和問題についての正しい理解と認識が深まっているものの、未だに差別がなくなるという現状がある。今後も、差別解消に向けて、取組を継続して行っていく必要がある。 								

○公民館係

事業名	公民館事業
決算見込額 (現計予算額)	65,780 千円 (71,781 千円)
事業内容	<p>目的:「学びの輪が 人をはぐくみ 地域を支えるまち」を目指す姿として定め、学びのグランドデザインにおける「5本の事業の柱」(下記のとおり)に基づく事業の実施及び支援により、人づくり、地域づくりを推進する。</p> <p>実績:中央公民館及び各地区公民館(分館含む)で317事業(999回)を実施し、17,675人が参加した。</p> <p><u>①学びのきっかけづくり</u> 地域住民のニーズに応じた趣味や教養講座等から個人の学びの意欲を高めるとともに、交流の輪を広げる。 *趣味・教養講座 54事業(参加者数=1,986人) *体育・レクリエーション講座 19事業(参加者数=904人)</p> <p><u>②未来を支える人づくり</u> 地域資源および地域の人材を活用した体験活動や交流等を通じて、子どもたちの豊かな心をはぐくむ。 *青少年教育活動事業 43事業(参加者数=2,116人) *こうみんかんキッズフェスタ事業 1事業(参加者数=34人)</p> <p><u>③支え合い、育ち合う家庭環境づくり</u> 子どもたちが健やかに育つよう家庭の教育力向上を図るとともに、子どもの居場所づくりに努める。 *家庭教育支援講座 22事業(参加者数=503人) *親子活動講座 9事業(参加者数=353人) *夏休み☆子どもつどいのひろば 18事業(参加者数=758人)</p> <p><u>④地域・現代課題に対応した人づくり</u> 各地域自治区における地域の課題や情報モラルなどの現代課題を学習することにより、課題解決に向けた意識を高める。 *ふるさと未来づくり事業 33事業(参加者数=2,234人) *地域・現代課題講座 27事業(参加者数=975人)</p> <p><u>⑤行動する人への支援</u> これから行動しようとする人や自主的に活動している団体、個人への活動支援を通じて、活動機会の提供及び活動の維持・継続を図る。 *分館事業 51事業(参加者数=3,586人) *団体・サークル、地域活動への支援 26事業(参加者数=1,260人) *生涯学習フェスティバル、作品展、発表会 14事業(参加者数=2,966人)</p>

評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でイベント等の開催に慎重な対応が求められる中、市民の学びの意欲や様々な物事への興味・関心を高め、人や地域とのつながりを保てるよう、学習・体験・交流の機会の安全な提供に努めた。 ・「学びの輪が人をはぐくみ地域を支えるまち」に向けた人づくり、地域づくりを推進するため、市民が気軽に集い、共に学び合い、交流を深められる事業を実施した。
-----	--

事業名	公民館図書室事業
決算見込額 (現計予算額)	1,073 千円 (1,180 千円)
事業内容	浦川原区及び頸城区を除く 11 区の公民館図書室において公民館利用者を始めとした地域住民の要望に応じた図書の購入により、公民館活動及び地域の活動に活用される図書室運営を行う。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用者や公民館事業参加者、地域住民の意見を反映した選書や公民館活動に係る図書の購入など、図書室の利用促進を図ることができた。

○生涯学習係

事業名	二十歳を祝うつどい運営事業
決算見込額 (現計予算額)	6,355 千円(6,765 千円)
事業内容	<p>目的：大人としての自覚と自立を促すとともに、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培う契機とする。</p> <p>内容：開催日 令和4年11月19日(土) 午後1時30分から2時30分 会場 リージョンプラザ上越 インドアスタジアム 出席者 1,282人(対象者2,090人の61.3%)</p> <p>▶ 第1部 式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国歌清聴 ・市長激励のことば ・市議会議長お祝いのことば ・新成人代表スピーチ(2人) <p>▶ 第2部 記念事業(公募委員(6人)による実行委員会が企画運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマは「未来へ躍進 ～伝える想い、ひろがる世界～」 ・スライドショーでは、20年間の思い出を振り返ったほか、恩師60人からのメッセージを紹介した。 ・二十歳の主張では、大切な人への感謝のことばやこれから挑戦したいことなど、参加者の思いを発表してもらった。 <p>【参考】新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着付けの密を避けるため、午後からの開催に変更。 ・対象者以外の入場を制限(家族も入場を制限)。来賓は市議会議長のみとした。 ・来場者に新型コロナウイルス感染症チェックシートの記入とあわせ、検温、手指消毒の実施、不織布マスクの着用を徹底。 ・入場口及び順路を設定し、原則、一方通行とした。 ・オープニングイベントの国歌斉唱、市民歌斉唱など、発声を伴うものを取りやめ。 ・対象者への配布物を削減するため、プログラムに二次元コードを印刷した。 ・式典の様子をYouTubeで配信した。(JCVが配信、開催後1か月は閲覧可能)
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催を11月に延期したが、感染症対策を徹底したうえで、実施することができた。

事業名	地域学校協働本部事業(地域青少年育成会議)
決算見込額 (現計予算額)	2,544 千円(3,888 千円)
事業内容	<p>目的：学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携及び協働を推進するための様々な仕組みづくりを進め、青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図る。</p> <p>内容：学校と地域をつなぐ役として、158人の地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)を委嘱した。</p> <p>新任コーディネーター研修会のほか、コーディネーター間の情報共有の</p>

	<p>機会を設けたほか、柿崎区青少年育成会議主催の講演会をコーディネーター研修会に位置づけて実施した。</p> <p>コロナ禍により対面での打合せ等が難しい状況であることを踏まえ、昨年引き続き Zoom (ズーム) を利用した育成会議訪問及び地域青少年育成会議実践事例発表及び意見交換会を実施した。</p>
評 価	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域青少年育成会議主催、共催、協力支援を行っている事業が中止や延期となったが、各育成会議では子どもたちのために「できること」を「できる範囲」で取り組むことができた。</p>

事業名	子ども交流活動支援事業補助金
決算見込額 (現計予算額)	157 千円 (240 千円)
事業内容	<p>目 的：子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダーの育成につながる活動を支援する。</p> <p>内 容：補助対象団体：単位子ども会、地区子連、地域青少年育成会議、文化活動団体 (5 人以上で組織されるもの)、その他類する団体として市長が認める団体</p> <p>補助対象事業：子どもの異学年交流、地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダーの育成につながる活動で、市長が適当と認めるものが対象。文化活動団体については、上記活動に加え、申請団体に所属していない子どもが活動に参加することが必要。</p> <p>補 助 額・率：補助対象活動の参加又は募集の範囲に応じて上限額は 1 万円から 10 万円。補助率は費目に応じて 5/10 から 10/10。</p> <p>交付申請：9 団体からの申請 10 件のうち、新型コロナウイルスによる中止 2 件</p> <p>交付実績：8 団体 8 件 (175 千円)</p>
評 価	<p>・子ども交流活動支援事業補助金では、子ども会だけでなく、地域青少年育成会議や町内会にもチラシを送付するなど、事業の周知を図った。</p>

事業名	上越市民芸能祭	
決算見込額 (現計予算額)	200 千円 (210 千円)	
事業内容	<p>目的：市民に芸能学習活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、芸術や文化活動の振興を図る。</p> <p>内容：新型コロナウイルスの感染症対策を講じながら、洋舞、民謡・民舞、合唱、古典芸能、ハワイアン・フラ・よさこいの全ての部門を開催した。</p>	
	芸能分野	開催日
	洋舞	5 月 28 日 (土)
	民謡・民舞	6 月 12 日 (日)
	合唱	7 月 10 日 (日)
	古典芸能	11 月 13 日 (日)
	フラダンス	11 月 13 日 (日)
	よさこい	
会場	上越文化会館	
会場	リージョンプラザ上越	
会場	上越文化会館	
会場	リージョンプラザ上越	
会場	上越文化会館	
評価	・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、全部門で実施することができた。	

事業名	上越市美術展覧会		
決算見込額 (現計予算額)	5,016 千円 (5,127 千円)		
事業内容	<p>目的：市民に美術・芸術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、美術・芸術文化の振興を図る。</p> <p>内容：会 期 令和 4 年 10 月 2 日 (日) ～10 日 (月・祝) 午前 10 時～午後 6 時 (10 日は午後 4 時まで) 出品者数 274 人(前回比▲1 人) 出品点数 315 点(前回比▲15 点) 会場・部門等及び入場者数 (9 日間延べ)</p>		
	会場	部門等	
	高田城址公園 オーレンプラザ	日本画	2,805 (+106)
		洋画・版画	
		彫刻・立体造形	
	ミュゼ雪小町	工芸・グラフィックデザイン	1,209 (▲139)
		書道、写真	
	合計		4,014 (▲33)
	【参考】新型コロナウイルス感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者にマスクの着用、検温、手指消毒の実施と来場者情報の登録を求めた。 ・順路を設定し、原則として一方通行とした。 	
	評価	・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、実施することができた。	

事業名	新潟県美術展覧会上越展
決算見込額 (現計予算額)	644 千円(731 千円)
事業内容	<p>目的：市における美術・芸術文化の振興を図るため、新潟県美術展覧会上越展を開催する。</p> <p>内容：会 期 令和4年6月22日(水)～6月26日(日) 午前9時30分～午後4時30分</p> <p>会 場 上越市教育プラザ体育館</p> <p>部 門 日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真(計7部門)</p> <p>展示点数 392点(新潟展：1,163点、佐渡展：389点、長岡展：433点、十日町展：400点)</p> <p>※県全体の応募点数は3,178点(うち上越市民は133点)、入賞・入品数は1,096点(うち上越市民は54点)</p> <p>入場者数 1,579人(前年度比▲520人、通行証(出品者)除くと1,473人)</p> <p>【参考】新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者にマスクの着用、検温、手指消毒の実施と来場者情報の登録を求めた。 ・順路を設定し、原則として一方通行とした。
評 価	・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、実施することができた。

○青少年健全育成センター

事業名	街頭指導活動
決算見込額 (現計予算額)	1,408千円(1,601千円)
事業内容	<p>実施回数：年間145回実施</p> <p>会 場：市街地、商業施設で高田地区（4コース）、直江津地区（4コース）</p> <p>対 象 者：幼児、児童生徒、有職無職少年</p> <p>目 的：青少年の健全育成及び非行、犯罪の防止及び被害防止のため、巡回指導で「愛の一声」活動を行った。</p> <p>内 容：上越市が委嘱する52名の育成委員で10班を編成し、旧高田・直江津地区の市街地、商業地帯、駅周辺及び青少年が集まる場所を巡回してあいさつや指導・注意等を行った。（声かけ人数10,253人、内注意・指導件数572件）</p> <p>そ の 他：定例街頭指導の他、以下の活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別街頭指導 7月8日（金）（南高田駅周辺） 10月6日（木）（高田駅周辺） ・PTA一日街頭指導（8月～9月）小・中学校33校35名参加
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・悪天候等のため一部中止もあったが、概ね計画通り街頭指導を実施することができた。 ・青少年の様子に前年度と大きな変化は見られず、全体に落ち着いた様子であった。 ・これまでと同様に声掛けに対して明るく挨拶を返す子どもたちが多く見られた。 ・特別街頭指導では、高校や少年サポートセンター等と連携した取組ができた。 ・青少年の非行や問題行動は少ない状態であるので、これを維持するために街頭指導での声掛けを継続していく。

事業名	環境浄化活動
決算見込額 (現計予算額)	0千円(0千円)
事業内容	<p>「青少年を取り巻く社会環境調査」は廃止となった。</p> <p>有害図書類自動販売機への立入り調査は引き続き実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：9月28日（水） ・設置場所：市内三和区 ・有害図書類等自販機（1ヶ所3台）について立入調査 <p>成人用DVD等の物品が条例に基づいて適正に販売されていることを確認した。設置業者に対して、引き続き販売小屋を適切に管理するよう指導した。</p> <p>条例違反は無く、販売小屋も概ね適切に管理されていた。調査結果は集約して県福祉保健部児童家庭課へ報告した。今年も業者及び地権者に対して改善要望を行った。</p>

評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・有害図書類等自販機が市内から全て無くなるように引き続き取り組んでいく。 ・「青少年を取り巻く社会環境調査」は廃止となったが、街頭指導をとおして引き続き社会環境の状況について留意していく。
-----	---

事業名	健全育成活動
決算見込額 (現計予算額)	0千円(0千円) *保護司会より助成
事業内容	<p>“社会を明るくする運動” 街頭宣伝活動 7月2日(土) 高田地区 7月3日(日) 直江津地区 7月3日(日) 浦川原区 6月21日(火) 柿崎区で実施</p> <p>そ の 他：“社会を明るくする運動” の関連活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市青少年健全育成研究会 7月18日(月・海の日) 柿崎区コミュニティプラザで開催 テーマ：「地域における青少年の健全育成」 ・作文コンテスト 市内小学校2校、中学校1校、中等教育学校1校が応募参加 有田小6年児童が 奨励賞(立川更生保護財団理事長賞) 受賞
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭宣伝活動をとおして市民に運動を周知することができた。 ・作文コンテストについては、より多くの学校から参加してもらえよう働きかける必要がある。

事業名	若者育成支援事業
決算見込額 (現計予算額)	143千円(190千円)
事業内容	<p>若者育成支援事業として下記の取組を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「若者ほっとライン」による相談の実施(通年) <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数延べ364回(31人)・・・主に不登校、ひきこもりの相談。 ② 若者の居場所(Fit)の運営(通年) <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度延べ利用回数315回(22人) ③ 上越市親の会の開設(年6回：教育プラザ) <ul style="list-style-type: none"> ・延べ参加者33人・・・保護者が悩みを話し合い、アドバイスをし合う。 ④ 若者育成支援団体の支援ネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議(12月15日(木)：教育プラザ 参加者20人) ・若者育成進路研修会の実施(8月2日(火)：教育プラザ 参加者42名)

	<ul style="list-style-type: none"> ・若者支援者研修の開設（年5講座：教育プラザ） ・申込者 54 名・・・若者支援関係者、支援に関心のある人等が参加し、知識と技術を学び資質向上を図った。
<p style="text-align: center;">評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の居場所「Fit」についてのこれまでの周知活動の効果が現れてきて、利用者が徐々に増えてきている。 ・地域包括支援センターや若者サポートステーション等、関係機関とのネットワークづくりが進み、具体的な支援の場面で連携できるケースが増えてきた。 ・若者の居場所「Fit」や「上越市親の会」の運営方法を工夫し、支援内容のさらなる充実を図る。

○上越科学館

事業名	上越科学館管理運営事業																											
決算見込額 (現計予算額)	72,373 千円 (73,043 千円)																											
事業内容	<p>目 的：市民の自然科学に関する教養を深め文化向上に寄与するため、上越科学館の管理運営を行う。</p> <p>内 容：○指定管理の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>制度導入年度</td> <td colspan="3">令和4年度</td> </tr> <tr> <td>指定管理者名</td> <td colspan="3">新東産業株式会社</td> </tr> <tr> <td>指定期間</td> <td colspan="3">令和4年4月1日から令和9年3月31日まで</td> </tr> </table> <p>○施設の管理実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">令和2年度</th> <th rowspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>計 画</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>35,172</td> <td>55,256</td> <td>77,000</td> <td>61,841</td> </tr> </tbody> </table>				制度導入年度	令和4年度			指定管理者名	新東産業株式会社			指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで			区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		計 画	実 績	利用者数	35,172	55,256	77,000	61,841
	制度導入年度	令和4年度																										
	指定管理者名	新東産業株式会社																										
	指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで																										
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																									
			計 画	実 績																								
利用者数	35,172	55,256	77,000	61,841																								
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度利用実績 																											
	<ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 利用者数 (3年度：11,986人 4年度：13,915人 増減：1,929人) <ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスひろば R4. 4. 29～5. 8 (10日間) 3,134人 第2四半期 利用者数 (3年度：23,306人 4年度：25,826人 増減：2,520人) <ul style="list-style-type: none"> ・夏期特別展「恐竜展 2022」 R3. 7. 16～8. 28 (43日間) 17,577人 第3四半期 利用者数 (3年度：13,628人 4年度：13,128人 増減：△500人) <ul style="list-style-type: none"> ・青少年のための科学の祭典 新潟県・上越大会 R4. 11. 26～27 (2日間) 3,044人 第4四半期 利用者数 (3年度：6,336人 4年度：8,972人 増減：2,636人) <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ特別展「中生代のいきもの」 R5. 1. 2～1. 29 (28日間) ・工作や体験ができるブースの設置 R5. 1. 2～1. 9 (8日間) 																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を徹底し、指定管理者による質の高い事業を提供することができた。 ・年間利用者数は前年度を上回る 61,841人となり回復傾向にある。 																											

○上越清里星のふるさと館

事業名	上越清里星のふるさと館管理運営費
決算見込額 (現計予算額)	18,623 千円 (19,261 千円)
事業内容	<p>概要：・天体観測及び天文に関する資料の展示等を通じて環境や自然の大切さを学ぶ機会を提供する。また、体験学習を通じて、生涯学習の振興と青少年の健全育成に寄与する。</p> <p>・デジタルプラネタリウムの有効活用を図るとともに、隕石落下の伝承を始め上越地域の天文教育の拠点にふさわしい学習機会を提供する。</p> <p>主な事業：・オープニングイベント【4/1～4/3 入館者数：49人】</p> <p>・春の★曜日（天文工作・観望会）【4/29～5/8 入館者数：599人】</p> <p>・大人の天文教室【8回実施 参加者数：105人】</p> <p>・天体写真に挑戦【8回実施 参加者数：111人】</p> <p>・親子星空教室【4回実施 参加者数82人】</p> <p>・七夕フェア【6/1～7/8 入館者数334人（保育園・幼稚園）】</p> <p>・ホテルと天の川【6/24～6/25 参加者数23人】</p> <p>・七夕の星を見る会【7/7 参加者数53人】</p> <p>・スター週間【8/1～8/7 夜間観望会 参加者数23人】</p> <p>・中秋の名月観望会【9/10 参加者数28人】</p> <p>・櫛池隕石落下記念観望会【9/16 参加者数2人】</p> <p>・第12回星の文化祭【11/2～11/14 入館者数368人】</p> <p>・皆既月食観望会【11/8 参加者数45人】</p> <p>・謙信KIDSプロジェクト「ほし」「星」【各2回実施 参加者数69人】</p> <p>・出前観望会【4回実施】</p> <p>・貸切プラネタリウム【8回実施 入館者数21人】</p> <p>・金子和博氏 星景写真展【4/15～11/28】</p>
評価	<p>・「櫛池の隕石」、「小惑星リュウグウのサンプルレプリカ」などの館内展示や、プラネタリウム新番組の放映（富士の星暦、くしりんと銀河鉄道の旅）、星景写真展の開催、季節毎の各事業の実施により入館者増に努めた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、プラネタリウム室の入場制限や、予定した校外学習などのキャンセルもあったが、入館者目標「7,000人」を概ね達成することができた。（目標達成率：95.4%）</p>

令和4年度 補助金交付事業

担当係・ 担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付決定額 (円)	備考
板倉	群馬県板倉町子ども会交流事業補助金	板倉子ども会交流会事業	群馬県邑楽郡板倉町の児童と相互交流を行うことにより、広い視野を持った心豊かな児童を育成するとともに群馬県邑楽郡板倉町との友好親善を深める。	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
大潟	生涯学習フェスティバル補助金	卯の花音楽祭	大潟区出身の小山作之助を顕彰するとともに、音楽財産を後世に残すため音楽祭を実施する。	208,000	
頸城	生涯学習フェスティバル補助金	くびき文化祭	頸城区で活動を行う市民を中心に、音楽発表会や作品展を通して自ら学習した成果を展示・発表する。また、体験学習コーナーやブックリサイクル等も実施する。	311,000	
吉川	生涯学習フェスティバル補助金	吉川区生涯学習フェスティバル	生涯学習の成果発表や団体のネットワーク形成の推進を行う。また、作品展・芸能発表会等を行う。	130,000	
中郷	生涯学習フェスティバル補助金	中郷区生涯学習フェスティバル（中郷区作品展）	取り組んできた学習や活動の成果を発表する場として開催し、相互の活動内容を理解するとともに、広く地域住民に知ってもらえる機会とし、もって生涯学習に取り組む機会とする。	84,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容を縮小し実施
板倉	生涯学習フェスティバル補助金	板倉ふれあいまつり実行委員会	板倉区住民の生涯学習を推進し、学習の成果発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を図るため、文化展をはじめとした各種イベントを開催・運営する。	80,000	

担当係・担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付決定額 (円)	備考
清里	生涯学習フェスティバル補助金	清里区生涯学習フェスティバル	清里区生涯学習フェスティバルを実施することで、清里区住民の生涯学習を推進し、学習成果の場の提供をするとともに地域住民の交流を図る。	95,000	
三和	生涯学習フェスティバル補助金	三和区生涯学習フェスティバル	地域で活動する人たちの日頃の学習の成果発表の場として、文化祭を開催し、市民の連携を深め、地域の活性化を図る。	200,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容を縮小し実施
生涯学習係	上越市小中学校PTA連絡協議会補助金	上越市小中学校PTA連絡協議会	家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図るため、上越市小中学校PTA連絡協議会が行う広報紙の発行や研修会等の事業を支援する。	500,000	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小
生涯学習係	岩内町交流事業補助金	上越市子ども会連絡協議会	青少年の健全育成を図るため、上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業「ジュニア上越の船」で来越した児童と当市の児童との交流事業を支援する。	0	新型コロナウイルス感染症の影響で中止
生涯学習係	上越市子ども交流活動支援事業補助金	単位子ども会、地区子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議、文化活動団体（5人以上の構成員で組織され、市の区域内で活動する団体）	子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる各種活動を支援する。	157,000	上限額は対象となる団体や範囲により1万円～10万円

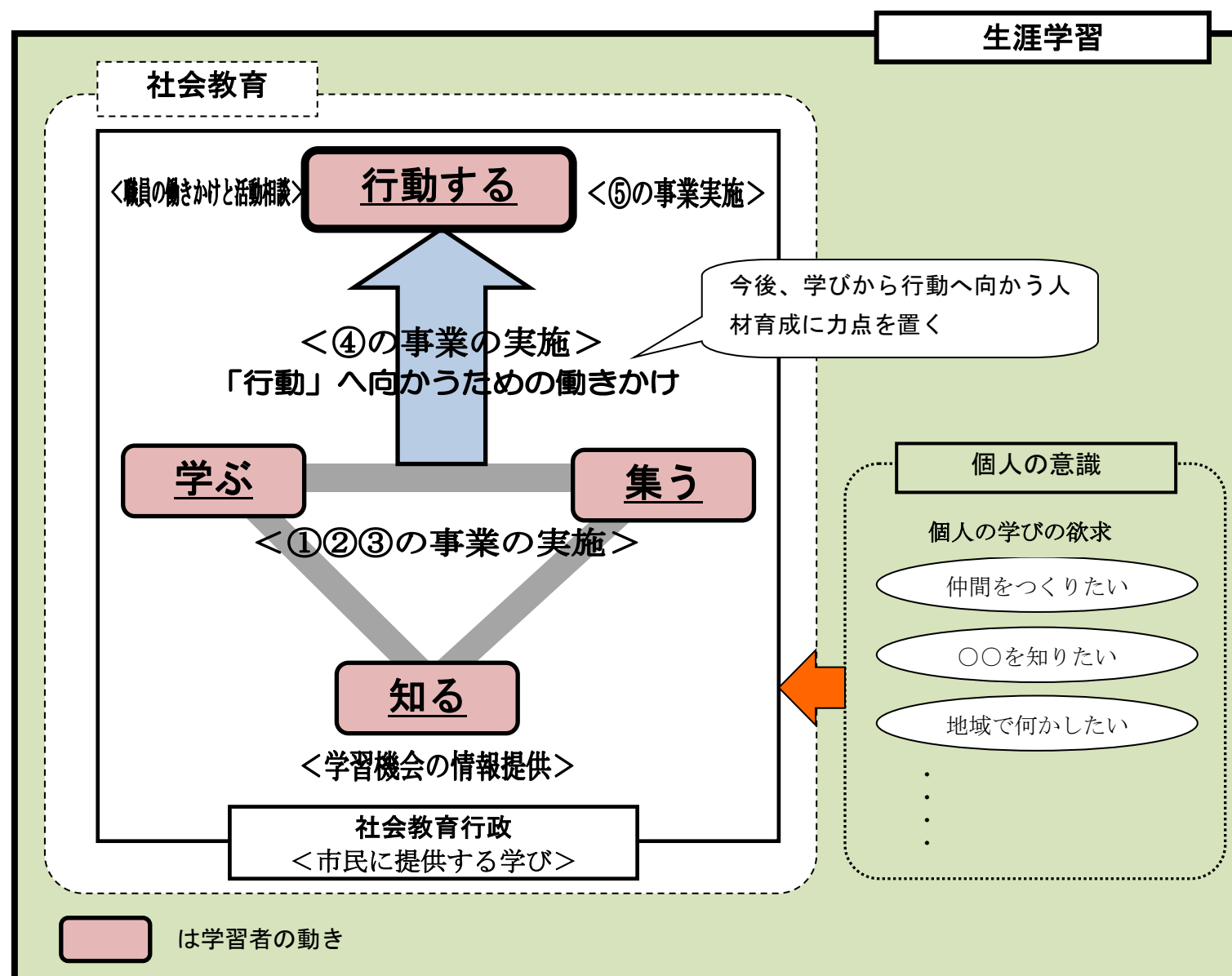
上越市の社会教育事業の「学びのグランドデザイン」

人・地域・未来

目指す姿 **学びの輪が 人をはぐくみ 地域を支えるまち**

- ・市民の学びの輪：市民が身近な学びの場集い、学ぶ楽しさを知り、学びを深め、行動する循環を生み出します。
- ・人を育む：社会教育事業のアプローチにより、上越市の未来を担う人材を育成します。
- ・地域を支える：育成した人材が課題解決に向けた行動を起こすことで地域を支えます。

■「学びのグランドデザイン」イメージ図



■ 当市における事業の目的と5本の事業の柱

＜事業の目的＞

- *ともに学び、ともに**はぐくむ人づくり**を推進する。
- *学習成果が活かされる**学びの輪**を形成する。
- *つながり、支え合う**地域づくり**を推進する。

＜5本の事業の柱＞

- ① 『学びのきっかけづくり』
学びのきっかけとなる事業を通じて、学びの意欲を高め、交流の輪を広げる。
- ② 『未来を支える人づくり』
さまざまな体験活動を通じて、子どもたちの豊かな心をはぐくむ。
- ③ 『育ち合い、支え合う家庭環境づくり』
子どもが健やかに育つよう、家庭の教育力向上を図る。
- ④ 『地域・現代課題に対応した地域づくり』
地域の課題や現代課題を学習することにより、課題解決に向けた意識を高める。
- ⑤ 『行動する人への支援』
これから行動する人や自主的に活動している団体、個人を支援する。

令和5年度 事業分類

5つの事業の柱	目的	年齢期		成人期	高齢期
		青少年（0～18歳）期			
		6歳	12歳		
学びのきっかけづくり	地域住民のニーズに応じた趣味や教養講座等から個人の学びの意欲を高めるとともに、交流の輪を広げる。			趣味・教養講座	
				体育・レクリエーション講座	
未来を支える人づくり	地域資源及び地域の人材を活用した体験活動や交流等を通じて、子どもたちの豊かな心をはぐくむ。	青少年教育活動事業			
		こうみんかんキッズフェスタ			
		謙信 KIDS プロジェクト			
育ち合い、支え合う家庭環境づくり	子どもが健やかに育つよう家庭の教育力向上を図るとともに、子どもの居場所づくりに努める。	家庭教育支援講座、家庭教育講演会			
		親子活動講座			
		夏休み☆子どもつどいのひろば			
地域・現代課題に対応した地域づくり	各地域自治区における地域の課題や情報モラル等の現代課題を学習することにより、課題解決に向けた意識を高める。	社会同和教育・人権教育事業			
		公民館のつどい			
		地域・現代課題講座			
		【令和3年度～】ふるさと未来づくり事業			
行動する人への支援	これから行動しようとする人や自主的に活動している団体、個人への活動支援を通じて、活動機会の提供及び活動の維持・継続を図る。	分館事業、地域公民館事業、ボランティア活動、団体・サークルや地域活動への支援、生涯学習フェスティバル			
		育成会議支援、市P連支援、子ども会支援、成人式、市展、県展、市民芸能祭、共催・後援 等			

【現状と課題】 … R4の取組から

- （多様な学習機会の提供）**
- 市民の価値観の多様化、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足が著しい。また、多様化する人権問題など、地域における現代課題に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
 - 個人の学びの要望に応えるとともに、生涯を通して学び、活躍できる担い手となるよう、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等、社会の要請に基づく学習機会の提供のほか、参加者の固定化及び事業のマンネリ化に対応した取組が必要である。
 - 課題解決のアイデアや気づきとなるような講座を、地域の団体と連携して実施する必要がある。
- （地域ぐるみの教育の推進）**
- 地域社会の連帯意識の希薄化などにより、地域における教育力が低下し、家庭教育を支える仕組みや環境も大きく変化している。
 - 22の地域青少年育成会議では、各地域の特色に応じた活動を行っているが、教員の働き方改革に伴う学校との関係や事業のあり方に課題を持つ地域もあることから、各地域の状況に応じた支援が必要である。また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の高齢化・担い手不足が生じている。
 - 地域の若者を地域づくりや社会教育の担い手として巻き込んでいく取組が必要である。
 - 高等学校での不登校や社会人となる段階での不適應など、若者が自立していく中で、つまずき、ひきこもりになる状況が見られる。未来ある若者が社会的に孤立しないよう、義務教育終了後も途切れることなく、自立に向けて支援する活動を推進する必要がある。
- （施設管理・整備）**
- 公民館（地区館及び分館）、生涯学習センター、白山会館、上越清里星のふるさと館、上越科学館、大潟野外活動施設、図書館を所管し、多くの施設は老朽化が進行している。
 - 公民館は、住民の学びやまちづくり活動を支える拠点となる施設である。また、職員が常駐する地区公民館は、子どもたちの居場所にもなっている。引き続き、住民が学びやすい環境を作っていく必要がある。
 - デジタル化の進展に伴い、社会教育施設におけるICT環境の整備を図る必要がある。

【目指すべき姿】

誰一人取り残さないというSDGsの理念の下、学びを通じた人づくり、地域づくりを推進する。

【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

【取組方向①】

多様な学習活動の推進
多様な学習機会の充実

- 多様な学習ニーズに対応するため、地域の資源や人材、NPOなど民間団体の取り組み等を活用し、主体的な学びのきっかけとなる学習機会の提供や学ぶ環境の充実を図る。
- 参加者同士が学び合い、互いに高め合えるよう支援するとともに、市民に学びの輪が広まり学習の成果が幅広くいかされるよう、学びが循環する地域づくりを推進する。
- 一人一人が大切にされる社会となるよう、人権教育を推進する。

【取組方向②】

学校・家庭・地域が一体となった子どもの健全育成

- 学校・家庭・地域が一体となって子どもの健全育成を推進し、郷土愛の醸成を図る。
- 地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、持続可能な青少年教育活動体制を整えるため、特に公民館と連携する仕組みづくりを進める。
- 地域学校協働活動推進員の取組を周知するなど、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図るとともに担い手の確保に努める。
- 義務教育終了後も切れ目のない若者への教育的支援の取組を進め、若者の居場所（Fit）を中核とする若者及び保護者への支援を充実させる。

【取組方向③】

施設管理・整備

- 施設の実態や利用状況を踏まえ維持管理や計画的な整備を進め、学ぶ環境の充実を図る。
- 住民の身近な学びの場、子どもの居場所としての環境を維持するとともに、ICT環境の整備を進める。
- 「公の施設の適正配置計画」に基づき、適正配置を進める。

【令和5年度の重点事業】

多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実

【事業内容】

- 人権教育の推進
 - ・人権意識を高めるための学習機会の充実
 - 郷土を愛する心の育成
 - ・地域の資源や誇りを活かした謙信KIDSプロジェクトの実施
 - 地域・現代課題に対応する取組の推進
 - ・地域団体とともに地域の課題解決に向けて、「ふるさと未来づくり事業」を各地区公民館で継続する。
 - コロナ禍にあっても、市民の学びの意欲や関心が高まるよう、教育機関である公民館での多様な取組を通じて、人づくり、地域づくりを推進する。
- <第7次総合計画・第3次総合教育プラン>
3-1-1 人権・多様性の尊重 5-3-1-1 多様な学習機会の充実 5-3-1-2 多様な学習活動の推進

学校・家庭・地域が一体となった子どもの健全育成

【事業内容】

- 家庭・地域の教育力向上
 - ・家庭教育支援講座、親子活動講座等の実施
 - 青少年の育成支援活動の推進
 - ・地域青少年育成会議への訪問を通じた各地域の状況把握と課題に応じた支援
 - ・地域青少年育成会議と公民館との事業連携の推進
 - ・市ホームページ等を通じた地域青少年育成会議や地域学校協働活動推進員の活動周知
 - ・担い手確保のための研修会等の実施
 - 若者育成支援の取組の充実
 - ・若者の居場所（Fit）の周知と活用の促進
 - ・親の会の開催による保護者支援の充実
 - ・関係機関・団体と連携した支援の推進
- <第3次総合教育プラン>
5-2-1-2 特色ある学校教育の推進 5-2-2-1 全ての子どもの学びの保障

施設管理・整備

【事業内容】

- 施設の適正管理と適正配置の取組推進
 - ・利用者が安全に安心して利用できるよう、施設の適切な管理運営を図る。
 - ・金谷地区公民館の整備をはじめ、適正配置の取組を進める。
 - 上越科学館の展示等の適切な管理運営を図る。
- <第7次総合計画>
5-3-1 多様な学びの推進

■社会教育係

《謙信KIDSプロジェクト》

- 1 概要 ふるさと上越の魅力ある体験活動を通して、学ぶ意欲やふるさとを愛する心を育成するとともに、地域の資源や人材をいかし、グローバル社会に生きる力を育てる。
- 2 内容 17講座22コース（しょく、ほし、しぜんA・B、うみA・B、さとやま、ものづくりA・B、プログラミング入門・基礎、縄文、ワールドツアー、ライフラインA・B、城と武将、食、海、星等）
- 3 対象 小学生（1～6年生）
- 4 実施時期 6月～令和5年1月

《現地学習会（部落問題学習会）》

- 1 概要 教職員等を対象に同和問題をはじめとした人権問題に関する学習会を開催し、正しい理解と認識を深め、人権教育における指導者としての資質向上を図ることを目的に開催する。
- 2 内容 年間を通して学校等からの申請を受け、白山会館で人権教育・同和教育の学習会を開催する。
- 3 対象 市内小・中学校71校全てでの実施を目標とし、取組を進める。

《人権を考える講話会》

- 1 概要 同和問題を始めとする人権問題に対する市民の正しい理解と認識を深め、差別意識の払拭を図ることを目的として開催し、全ての小学校区を3年間で一巡する計画で実施する。（6巡目の3年目）
案内や当日運営は、小学校や地域青少年育成会議など、地域団体の協力を得て実施する。
- 2 内容 講話、意見交換など
- 3 対象 講話会を開催する小学校区の児童の保護者、地域団体や町内関係者、教職員等
- 4 開催校区 大手町小、東本町小、稲田小、和田小、春日小、高志小、諏訪小、三郷小、高士小、有田小、下黒川小、明治小、中郷小、板倉小、豊原小、美守小（計16校での開催を予定）
- 5 講師 社会教育指導員

《人権教育・啓発図書及びビデオの貸出》

- 1 概要 広く人権意識の高揚を図り、市民、社会教育・学校教育関係者が実施する研修会や学習会、自己啓発のため、図書やビデオ等を無料で貸出する。
- 2 内容 図書（560冊） … 白山会館、社会教育課に設置
ビデオ、DVD（42巻） … 社会教育課に設置
図書、ビデオ、DVDのリストを白山会館図書コーナーに設置するほか、市ホームページに掲載する。
【上越市ホームページ → 組織でさがす → 社会教育課（青少年健全育成センター） → 人権・同和教育関係の資料貸し出し】
- 3 貸出、申込方法 図書の貸出しは設置場所の貸出簿へ記入する。
ビデオ・DVDは社会教育課へ電話（025-545-9245）で申し込む。

- 4 その他 上越地区広域視聴覚教育協議会（視聴覚ライブラリー）でも人権啓発ビデオ・DVDの貸出しを行っている。

■公民館係

《公民館事業》

- 1 概要 「学びの輪が 人をはぐくみ 地域を支えるまち」を社会教育の目指す姿とし、学びを通じた人づくり、地域づくりを推進する。
公民館で行う事業を下記の5つに分類し、実施及び支援する。
- 2 内容 ①学びのきっかけづくり
「陶芸教室」、「ふるさと散歩スマホ道」、「健康生活講座」など70事業
②未来を支える人づくり
「子ども体験教室」、「わんぱくチャレンジ」、「星空観察会」など42事業
③育ち合い、支え合う家庭環境づくり
「家庭教育支援講座」、「親子活動講座」など48事業
④地域・現代課題に対応した地域づくり
「ふるさと未来づくり事業」、「交通安全教室」、「防災講座」など53事業
⑤行動する人への支援
「生涯学習フェスティバル」、「地域スポーツ大会」など142事業
- 3 対象 上越市民
- 4 実施時期 年間を通して実施

《夏休み☆子どもつどいのひろば》 上記③に含まれる

- 1 概要 各地域自治区における人づくり、地域づくり活動の拠点である公民館において、子どもたちが自由に活動する機会を提供することにより、公民館を身近に感じてもらい、子どもたちが健やかに育つ環境づくりに努める。
- 2 内容 公民館等施設の一室を開放し、子どもたちが気軽に安心して過ごす場所を提供する。
- 3 対象 主に小学生
- 4 場所 地区公民館内等施設の空いている部屋
- 5 実施時期 夏休み期間中の主に平日午前9時から午後4時まで（公民館主事の常駐時間）。
なお、期間は地区公民館ごとに異なる。

《公民館図書室の運営》

- 1 概要 公民館利用者を始めとした地域住民の意見や要望等に応じた図書の購入により、地域の拠点である公民館で身近に本を手取る機会を提供するとともに、公民館活動やコミュニティ活動に活用される図書室を目指す。
なお、図書の利用促進の観点から、図書館が蔵書する本の予約等の図書館サービスも図書室で行う。
- 2 内容 各地区公民館図書室に所蔵する図書資料の貸出、公民館利用者及び利用団体等の意見や要望を反映した図書の選定、登録・除架作業、管理運営。
- 3 休館日 12月29日～1月3日ほか、各施設条例に定める日

《地域独自の予算事業》

- 1 事業名等 アートでまちおこしプロジェクト（中郷区）
- 2 概要 アートを通じた地域の一体感の醸成や地域活性化、交流人口の増加を図るため、中郷区にUターンしたアーティストの知識・経験・人脈を活用し、中郷区生涯学習フェスティバルでの演劇披露のほか、芸術に関する公民館講座を開催する。
- 3 実施主体 生涯学習フェスティバル実行委員会（提案団体：一般社団法人 中郷区さとまる学校）

■生涯学習係

《二十歳を祝うつどい》

- 1 概要 大人としての自覚と自立を促すとともに、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培う契機とする。
- 2 内容
 - (1) 日時：4月8日（土）午後1時30分から2時30分
 - (2) 会場：リージョンプラザ上越 インドアスタジアム
 - (3) 出席者：1,184人（対象者1,765人の67.1%）
 - (4) 次第
 - 第1部 式典
 - ・国歌清聴
 - ・市長激励のことば
 - ・市議会議長お祝いのことば
 - ・新成人代表スピーチ（2人）
 - 第2部 記念行事
 - 公募委員（7人）による実行委員会が企画運営
 - ・テーマは「軌跡～未来への一歩～」
 - ・スライドショー
 - ・抽選会

《地域学校協働本部事業（地域青少年育成会議）》

- 1 概要 「地域の子どもは地域で育てる」という視点に立ち、地域が主体的にその地域の教育活動を考え、学校と連携して教育活動を行い、地域の総合的な教育力の向上を図る。学校と地域青少年育成会議との橋渡しを行う上越市地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を配置し、学校と家庭と地域の連携を推進していく。
- 2 内容 市内22中学校区すべてに設置されている
 - ・上越市地域青少年育成会議協議会総会
 - ・地域青少年育成会議実践事例発表及び意見交換会
 - ・新任コーディネーター研修会
 - ・広報紙作成 ほか

《子ども交流活動支援事業補助金》

- 1 概要 子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダーの育成につながる活動を支援する。
- 2 内容
 - (1) 補助対象団体：単位子ども会、地区子連、地域青少年育成会議、文化活動団体（5人以上で組織されるもの）、その他類する団体として市長が認める団体
 - (2) 補助対象事業：子どもの異学年交流、地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダーの育成につながる活動で、市長が適当と認めるものが対象。
文化活動団体については、上記活動に加え、申請団体に所属していない子どもが活動に参加することが必要。
 - (3) 補助額・率：補助対象活動の参加又は募集の範囲に応じて上限額は1万円から10万円。補助率は費目に応じて5/10から10/10。

《上越市民芸能祭》

- 1 概要 芸能学習の成果を発表する機会を創出し、市民の活動意欲の高揚を図るとともに、市民が芸術や文化に触れる機会を提供し、文化活動へ参加する機運を醸成することを目的に開催する。
- 2 内容 上越市民芸能祭の開催

芸能分野	開催日	会場
洋舞	5月27日（土）	上越文化会館
民謡・民舞	6月11日（日）	リージョンプラザ上越
合唱	7月9日（日）	ユートピアくびき希望館
古典芸能	10月29日（日）	リージョンプラザ上越
フラダンス	11月12日（日）	上越文化会館
よさこい		

- 3 その他 入場無料

《上越市美術展覧会》

- 1 概要 市民の美術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、だれもが生涯学習活動ができるよう支援する。市展入選作品を展示、鑑賞することにより美術への関心を高め、文化振興を図る。
- 2 内容 第52回上越市美術展覧会の開催
- 3 期間 10月1日（日）～10月9日（月・祝） 9日間
- 4 会場 高田城址公園オーレンプラザ、ミュゼ雪小町
- 5 その他 入場無料

《新潟県美術展覧会上越展》

- 1 概要 県内最大の美術展覧会である「県展」巡回展を当市で開催し、市民に芸術鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化活動の振興を図る。
- 2 内容 第77回新潟県美術展覧会上越展の開催
- 3 期間 6月7日（水）～11日（日） 5日間
- 4 その他 大学生以下は入場無料

■青少年健全育成センター

《街頭指導》

- 1 概要 ・旧高田・直江津地域の商業地帯、駅周辺及び青少年が集まる場所6地域を中心に、青少年健全育成委員が巡回指導で「愛の一声」活動を行う。
- 2 内容 ・民生委員・児童委員、保護司会、更生保護女性会、子ども会、町内会から委員52名を委嘱し、10班を編成して年間120回程度の定例巡回指導を行う。
・青色パトロール車による巡回指導（月2回）、PTA街頭指導体験、他機関と連携した特別街頭指導（7月、10月）を実施する。

《環境浄化活動》

- 1 概要 ・有害図書類等自動販売機の調査を行い、違反販売店への是正指導等を実施する。
- 2 内容 ・有害図書類等の自動販売機設置業者立ち会いのもとに立入調査を実施し、販売品や周辺の環境、標示等の改善指導を行うとともに、地権者に対して契約更新をしないように要請文を送付する。（現在市内1ヶ所に3台の自動販売機が設置されている。）

《健全育成活動》

- 1 概要 ・犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会づくりのために、保護司会と連携し、“社会を明るくする運動”を展開する。
- 2 内容 ・街頭宣伝活動（高田・直江津・柿崎・浦川原）を実施する。
・青少年健全育成研究会を開催する。
・市内の小中学生を対象に、作文コンテストを実施する。

《若者育成支援活動》

- 1 概要 ・義務教育終了後に悩みや不安を抱えて困っている若者とその保護者に対して、相談活動や居場所の運営等とおして、若者の自立へとつながる支援を行う。
- 2 内容 ・さまざまな困難を抱える若者やその保護者への相談窓口として、相談ダイヤル「若者ほっとライン」を運営する。
・不登校やひきこもり等の若者が家から外に一步を踏み出すための支援を行う場として、若者の居場所「Fit」を運営する。
・子どもの不登校・ひきこもり等に悩む保護者を対象とする「上越市親の会」を継続して開催し、保護者・家族への支援を行う。
・若者育成支援関係機関や団体間で連携した支援が可能になるようにネットワークづくりを推進する。

■上越科学館

《上越科学館管理運営事業》

- | | | |
|--------|---|----------------------|
| 1 概要 | ・市民の自然科学に関する教養を深め文化向上に寄与するため、上越科学館の管理運営を行う。 | |
| 2 主な事業 | ・少年少女発明クラブ（小学校2～6年生） | 【通年】 |
| | ・科学たんけん隊（小学5～6年生） | 【6月～12月】 |
| | ・上越科学館科学部（中学生対象） | 【6月～12月】 |
| | ・おとなのためのアブナイ実験教室（高校生以上） | 【10月～2月】 |
| | ・夏期特別展 | 【7月中旬～8月下旬】 |
| | ・教員のための科学館の日 | 【8月下中旬】 |
| | ・上越こども発明工夫・模型・工作 | 【9月中旬】 |
| | ・標本作品展 | 【9月中旬～10月上旬】 |
| | ・青少年のための科学の祭典 上越大会 | 【11月下中旬】 |
| | ・サイエンスショー | 【日曜日、祝日、夏休み期間、春休み期間】 |
| | ・各種自然観察教室 | 【植物、野鳥、地層、昆虫、ブナ林】 |
| | ・その他、理科・科学全般、総合学習に関する相談 | 【随時受付】 |
| | ・「夏休み自由研究相談会」 | 【7月中旬～下旬】 |
| | ・「冬の星座観察会」 | 【令和5年2月下旬～3月中旬】 |
| | ・PTC活動対象の出前講座 | 【通年】 |
| | ・小学校理科系クラブの指導 | 【通年】 |
| | ・雪の結晶のふしぎ | 【7月下旬～8月下旬】 |
| | ・ひよこの誕生 | 【3月下旬～4月上旬】 |

■上越清里星のふるさと館

《上越清里星のふるさと館管理運営事業》

- | | | |
|--------|---|---------------|
| 1 概要 | ・天体観測、プラネタリウム及び全天周番組の上映等を通じて、天文への関心を高め、生涯学習振興につなげる。 | |
| | ・県指定文化財「榎池の隕石」の関連資料の充実を図り、その価値と貴重性を広く紹介する。 | |
| | ・「上越清里星のふるさと館」開館30周年を記念して、JAXAの宇宙飛行士による講演会を開催し宇宙に対する市民の関心を高めるとともに、施設の利用促進を図る。 | |
| 2 主な事業 | ・オープニングイベント | 【4/1～4/3】 |
| | ・スターゴールデンウィーク開催 | 【4/29～5/7】 |
| | ・大人の天文教室 | 【4月～11月、8回予定】 |
| | ・天体写真に挑戦 | 【5月～11月、8回予定】 |
| | ・くしりん親子星空教室「ぎんが」（小学1～3年の親子対象） | 【年4回予定】 |
| | ・くしりん親子星空教室「銀河」（小学4年～中学3年の親子対象） | 【年4回予定】 |
| | ・ホテルと天の川 | 【6/23～6/24】 |
| | ・謙信KIDSプロジェクト「ほし」「星」受講者の受入れ | 【7～10月、各2回】 |
| | ・七夕フェア | 【6/1～7/7】 |
| | ・七夕の星を見る会 | 【7/7】 |
| | ・スター週間 | 【8/1～8/7】 |
| | ・中秋の名月を見る会 | 【9/29】 |

- ・ 隕石落下記念観望会 【9/16】
- ・ 星の文化祭 【11/1～11/13】
- ・ あなただけのプラネタリウム 【4月～11月】
- ・ 昼寝たリウム 【4月～11月】
- ・ 保育園や小中学校等の受入れ及び出前講座の実施 【随時受付】

《地域独自の予算事業》

- 1 事業名等 スターフェスティバル 2023 事業
- 2 概 要 子どもから大人まで天文に興味を持ち、かつ清里を訪れる人を増やすため、開館 30 周年を迎える上越一の天文体験施設をいかし、天文講演会や星空コンサート等を内容とするスターフェスティバルを開催する。
- 3 実施主体 天文指導協力員会

令和5年度 補助金交付事業計画

担当係・担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
板倉区	群馬県板倉町子ども会交流事業補助金	板倉子ども会交流会事業	群馬県邑楽郡板倉町の児童と相互交流を行うことにより、広い視野を持った心豊かな児童を育成するとともに群馬県邑楽郡板倉町との友好親善を深める。	186,000	
大潟区	生涯学習フェスティバル補助金	卯の花音楽祭	大潟区出身の小山作之助を顕彰するとともに、音楽財産を後世に残すため音楽祭を実施する。	208,000	
頸城区	生涯学習フェスティバル補助金	くびき文化祭	頸城区で活動を行う市民を中心に、音楽発表会や作品展を通して自ら学習した成果を展示・発表する。また、体験学習コーナーやブックリサイクル等も実施する。	311,000	
吉川区	生涯学習フェスティバル補助金	吉川区生涯学習フェスティバル	生涯学習の成果発表や団体のネットワーク形成の推進を行う。また、作品展・芸能発表会等を行う。	130,000	
中郷区	生涯学習フェスティバル補助金	中郷区生涯学習フェスティバル	取り組んできた学習や活動の成果を発表する場として開催し、相互の活動内容を理解するとともに、広く地域住民に知ってもらふ機会とし、もって生涯学習に取り組む機会とする。	100,000	
板倉区	生涯学習フェスティバル補助金	板倉ふれあいまつり実行委員会	板倉区住民の生涯学習を推進し、学習の成果発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を図るため、文化展をはじめとした各種イベントを開催・運営する。	80,000	

担当係・ 担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
清里区	生涯学習フェスティバル補助金	清里区生涯学習フェスティバル	清里区生涯学習フェスティバルを実施することで、清里区住民の生涯学習を推進し、学習成果の場の提供をするとともに地域住民の交流を図る。	95,000	
三和区	生涯学習フェスティバル補助金	三和区生涯学習フェスティバル	地域で活動する人たちの日頃の学習の成果発表の場として、文化祭を開催し、市民の連携を深め、地域の活性化を図る。	250,000	
生涯学習係	上越市小中学校PTA連絡協議会補助金	上越市小中学校PTA連絡協議会	家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図るため、上越市小中学校PTA連絡協議会が行う広報紙の発行や研修会等の事業を支援する。	1,355,000	上限額
生涯学習係	岩内町交流事業補助金	上越市子ども会連絡協議会	青少年の健全育成を図るため、上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業「ジュニア上越の船」で来越した児童と当市の児童との交流事業を支援する。	40,000	上限額
生涯学習係	上越市子ども交流活動支援事業補助金	単位子ども会、地区子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議、文化活動団体（5人以上の構成員で組織され、市の区域内で活動する団体）	子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる各種活動を支援する。	200,000	上限額は対象となる団体や範囲により1万円～10万円

担当係・担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	すわっ子わく わく事業 実施主体： すわっ子クラ ブ	子どもたちの健全育成や住 民の郷土愛の醸成を図るた め、二貫寺の森での野外活動 や各種体験教室等を実施す る。	640,000	
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	児童の地域お 宝発見・地域 住民ふれあい 事業 実施主体： 上雲寺小学校 最寄会	児童の地域教育の成果を地 域に周知するため、地域連携 カレンダーを作成し配布す る。	151,000	
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	第6回手しご と・手づくり 柿崎・上越作 品展 実施主体： 手しごと・手 づくり柿崎・ 上越作品展実 行委員会	ものづくり文化の伝承と世 代間交流を促進するととも に、いきいきと健康に暮らせ る地域社会の構築を図るた め、ものづくりに取り組む市 民の作品発表の場を設ける。	440,000	
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	「うたって・ おどって・み て」楽しい暮 らしを応援 実施主体： 牧文化協会	生涯学び続けることの楽し さを伝え、文化活動参加者及 び鑑賞者の裾野を広げるこ とを目的に、牧文化協会主催 による「夢まつり」を開催す る。	113,000	
清里区	地域独自の 予算事業補 助金	スターフェス ティバル 2023 事業 実施主体： 天文指導協力 員会	子どもから大人まで天文に 興味を持ち、かつ清里を訪れ る人を増やすため、開館 30 周年を迎える上越一の天文 体験施設をいかし、天文講演 会や星空コンサート等を内 容とするスターフェスティ バルを開催する。	619,000	

担当係・ 担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
中郷区	地域独自の 予算事業補 助金	アートでまち おこしプロジ ェクト 実施主体： 生涯学習フェ スティバル実 行委員会 (提案団体： 一般社団法人 中郷区 さと まる学校)	アートを通じた地域の一体 感の醸成や地域活性化、交流 人口の増加を図るため、中郷 区にUターンしたアーティ ストの知識・経験・人脈を活 用し、中郷区生涯学習フェス ティバルでの演劇披露のほ か、芸術に関する公民館講座 を開催する。	185,000	

令和5年度 社会教育委員による事業訪問について（案）

1 実施目的

社会教育課で実施する社会教育事業について、社会教育委員・公民館運営審議会委員から参加してもらい、事業に対する意見や提案を寄せていただく。寄せられた意見等を今後の事業計画や運営に反映させるなどして、より充実した社会教育事業の展開を図る。

2 対象事業

- ・各種公民館事業、社会教育事業（市展、生涯学習フェスティバル、謙信 KIDS プロジェクトなど） 対象事業を限定しない。

3 事業訪問の流れ

- ① 【社会教育課】各種公民館事業、社会教育事業の日程等を定期的に郵送する配布物と合わせてお知らせするほか、市ホームページ等で情報収集いただけるよう準備を進める。
- ② 【委員】各自興味のある分野の公民館事業や社会教育事業の日程を確認し、事業実施日の1週間前までに、訪問事業を社会教育係へ連絡する。（メール、電話、Fax）
- ③ 【委員】事業訪問を実施。（社会教育委員の名札着用）
- ④ 【委員】裏面「令和5年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」により、意見・提案を事業訪問参加後1ヶ月以内を目安に市へメール・Fax・郵送・持参のいずれかの方法で報告する。
- ⑤ 【市】いただいた意見・提案を今後の事業計画や運営に反映できるよう検討する。

4 その他

- ・参加を強制としない。
- ・裏面「令和5年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」の提出を受けて、自宅から事業開催会場までの距離に応じた交通費（22円/km）を口座振込で支給します。
- ・市民として申込・参加した場合も、意見・提案等ありましたら、任意の様式で報告をお願いします。（交通費の支給なし）

令和5年度 社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート

事業名		講座名	
開催日		委員名	

No.	項目	評価 (※)	意見・提案
1	目的に対して、活動内容は適切であるか	
2	講座全体の雰囲気	
3	参加者の様子、取り組む姿勢 (受講中の表情など)	
4	全体を通しての感想及び意見 (自由記述欄)		
		

※ 評価 (◎: とてもよい ○: おおむねよい △: 改善する点がある ×: 改善すべき)

- お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。(メール、FAX、郵送、持参のいずれかの方法をお願いします。)
- コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

【提出先】

〒942-8563
 上越市下門前1770 教育プラザ内
 上越市教育委員会社会教育課 社会教育係
 電話：545-9245、FAX：545-9272
 メール：shakaikyoubu@city.joetsu.lg.jp

社会教育委員・公民館運営審議会委員 情報共有の取組について（案）

1 実施目的

社会教育委員の皆さん同士で社会教育活動におけるヒントや課題、解決策などといった情報を共有し、各自が携わっている社会教育活動等を充実した活動にすることで、上越市の社会教育の推進につなげていく。

2 実施内容

次の流れにより、委員から各種情報や意見・提案等をお寄せいただき、社会教育課で取りまとめたのち、全委員に配布し情報を共有していただくとともに、社会教育課内でも情報を共有していく。

社会教育課

- ・各委員の社会教育活動における課題や悩み、工夫した点、効果を感じられた取組などを記入する「情報共有シート」（裏面参照）を委員へ送付。

社会教育委員

- ・「情報共有シート」を記入し社会教育課へ提出する。
（裏面の「情報共有シート」に書式は限定せず、自由に記入いただくこととする。
任意の様式でも可とする。）

社会教育課

- ・提出された「情報共有シート」を取りまとめ、全委員に配布するとともに、社会教育課にて情報を共有する。

社会教育委員 社会教育課

- ・各委員の「情報共有シート」を参考に、各自の社会教育活動に取り組んでいく。

3 時期

「情報共有シート」の提出は、第2回及び第3回の社会教育委員・公民館運営審議会委員会会議に合わせ、年2回（8月・2月）とする。

情報共有シート（案）

委員名 _____

【テーマ】 (なくても可)

- ・日頃感じていること・課題・効果的に感じられた取組等を自由にご記入ください。
- ・社会教育委員・社会教育課職員で情報共有をするために使用します。

令和5年度 社会教育委員に関する会議等日程一覧

○現段階での予定になります。

○社会教育委員の皆様へは、その都度ご案内させていただきます。

期 日	会 議 等 名	会 場 等
4月24日(月)	第1回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	上越市教育プラザ
6月9日(金)	社会同和教育市町村巡回研修会	ユートピアくびき
6月23日(金)	上越地区社会教育委員連絡協議会総会研修会	上越地域振興局
6月28日(水)	新潟県社会教育委員連絡協議会社会教育委員等研修会	新潟市黒崎市民会館
8月下旬予定	第2回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	上越市教育プラザ
月 日()	生涯学習現地研修会	糸魚川市
10月18日(水)	県社会教育研究大会胎内大会 (上越市 分科会発表)	胎内市産業文化会館
2月中旬予定	第3回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	上越市教育プラザ

<関連事業等>

- ・11月8日(水)～10日(金) 全国社会教育研究大会
開催場所：宮崎県宮崎市 (交通費・宿泊費の支給なし)
- ・11月21日(火)～22日(水) 関東甲信越静社会教育研究大会
開催場所：栃木県宇都宮市 (交通費・宿泊費の支給あり)